

第37回世田谷弓道選手権大会

【東京都スポーツ大会選手選考兼】



開催日 令和7年2月2日（日）

時 間 午前9時開場

場 所 世田谷区立総合運動場・弓道場

主 催	世田谷区弓道連盟
共 催	世田谷区 (公財) 世田谷区スポーツ振興財団

1 役員

① 大会役員

会長	田中 健二
顧問	鬼塚 満寿彦 加藤 薫
参与	平岡 賢 吉原 迅記

② 大会委員長

田中 健二

③ 競技委員

競技委員長	田中 健二			
審判長	山口 美智子			
副審判長	熊谷 真理子			
競技委員	(射場進行) 榎本 治男 (射場掲示) 橋本 直 (招集・場外進行) 高久 裕子 (的前審判) 宮野 結斗 (記録) 伊藤 亜希子 (記録PC) 斎藤 理恵 (総務・会計) 土井 晴人	田中 健二 土井 晴人 阿部 肇子 杉崎 良太 針谷 修子 野田 雄馬 伊藤 亜希子	山口 美智子 杉本 喜乃 洲崎 仁志 小谷 由美 森 利行 坂井 幸代 楠瀬 裕一 小林 美佐子 中道 衡貴 斎藤 理恵	熊谷 真理子 坂井 幸代 楠瀬 裕一 小林 美佐子 中道 衡貴 斎藤 理恵

2 実施要項

① 日時

令和7年2月2日（日）午前9時開場、午前9時30分開始

※選手は、あらかじめ指定された時間に集合

② 会場

世田谷区立総合運動場内弓道場

③ 参加資格

区内在住・在勤・在学または当連盟加盟団体の会員

および関係団体、個人（募集要項の参加資格一覧表の記載通り）

④ 射 候

近的 立射 予選：4つ矢×1立（参加者多数のため当初の「1手+4つ矢」から変更）

決勝：4つ矢×1立

⑤ 種目

男子の部、女子の部

⑥ 競技方法

(1) 全日本弓道連盟弓道競技規則及び本大会実施要項による

(2) 予選 4射2中以上通過（参加者多数のため当初の「6射3中以上」から変更）

(3) 決勝 4射

⑦ 順位決定方法

決勝4つ矢2中以上の的中者により順位を決定する

優勝は原則として射詰競射とし、2位以下は遠近競射とする

※ 区内在住、在勤者の方は、本大会の成績を5月開催予定の東京都スポーツ大会

世田谷区代表選手選考の参考とさせていただきます

⑧ 表彰

(1) 各部毎に五位までの入賞者に表彰状授与

(2) 各部毎に五位までの入賞者に賞品授与

⑨ 参加費

一人500円

成 績 表

	男子の部	女子の部
(フリガナ) 優 勝	ナカセ ユウスケ 中瀬 雄介	オカダ ユリ 岡田 優里
(フリガナ) 2 位	ツカハラ ヒロタカ 塚原 洋剛	サトウ ユズネ 佐藤 柚音
(フリガナ) 3 位	タナカ ミチヒロ 田中 亨拓	オグリ カエデ 小栗 かえで
(フリガナ) 4 位	カンバヤシ ジュンダイ 神林 純大	アベ ケイコ 阿部 肇子
(フリガナ) 5 位	ドイ ハルト 土井 晴人	ヤシマ ミクリ 八島 実玖莉

【男子の部】 参加者 49名

予選で2中以上の決勝進出者は19人
 決勝で2中以上の的中者は15人
 その15人で射詰競射を行ったところ的中者は8人
 2回目の射詰競射を行ったところ的中者は2人
 2回目の射詰競射の失中者6人で4位、5位を決めるために遠近競射を行う
 2回目の射詰競射の的中者2人で優勝、2位を決めるために射詰競射を行う
 3回目の的中者は1人で優勝者が決定。失中者は2位
 その結果が以上です

【女子の部】 参加者 83名

予選で2中以上の決勝進出者は22人
 決勝で2中以上の的中者は6人
 その6人で射詰競射を行ったところ的中者は3人
 2回目の射詰競射の失中者3人で4位、5位を決めるために遠近競射を行う
 2回目の射詰競射の的中者3人で優勝、2位、3位を決めるために射詰競射を行う
 3回目の的中者は1人で優勝者が決定
 3回目の射詰競射の失中者2人で2位、3位を決めるために遠近競射を行う
 その結果が以上です